

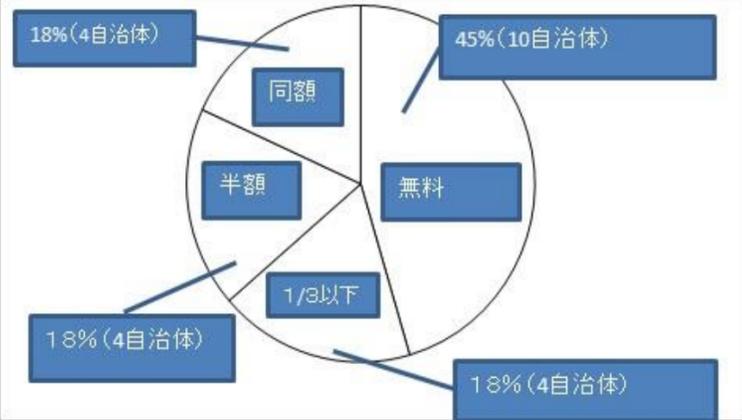
## プラ分別パブコメ 提出された意見概要及び市の考え方

- パブコメ実施期間：平成30年9月1日～10月1日
- 意見提出者：12人
- 意見数：23件

	項目	意見全文	市の考え方
1	分別収集	<p>プラ分別で新たに専用ゴミ袋の使用を義務付けることには反対です。23区では、プラスチックは燃えるゴミとしますよね。新しいクリーンセンターができるのに、性能的に燃やせない訳はないはずですが。燃やせないのなら、新しくする意味ありません。新たに分別作業を市民に課して、なお専用ゴミ袋を買わせようとするのは行政の怠慢であるし、納入業者との癒着、利益誘導と思われるのも仕方ないと思います。はっきり言って、これは形を変えた増税ですよ？しかも、来年の消費税増税時には、軽減税率が適用されないんですよ？非常に腹立たしいです。割高な専用ゴミ袋を強制的に買わされて、その上、まだ分別作業を強要させることを決めるのが行政の仕事なんじゃないですか。ふるさと納税返礼品に寄付額の3割超を送っているのは東京都で5市村だという調査結果が出ましたが、日野市もそのひとつだったとのこと。そんな余裕があるならその分を在住市民に還元して割高な専用ゴミ袋を買わずに済むようにしてください。確か、日野市は共働き世帯が過半数になったはず。忙しい共働き世帯に、余計な作業と貴重な時間の浪費を強いるのは行政サービスとはいえませんし、100歩譲って、エコロジーのため、と言っても、プラスチックを分別したところで、どんな効果があるのか全く見えてきません。市民の労力をあてにして、専用ゴミ袋を買わせるというのなら、その前に、どんな効果があって、どんな利点があるのか、経済的な観点やエコロジーの観点などからしっかりシミュレーションしたものを提示してから、施工してください。</p>	<p>日野市では、新たに焼却処理施設を建設するにあたり、更なるごみの減量を行い、ごみ焼却による二酸化炭素の排出を抑えるように地元の皆さまから求められています。また、拡大生産者責任を追究していくために、容器包装類は適正に分別収集し、資源化に取り組むことが重要と考えております。よって新たに資源化施設を建設し、プラスチック類の資源化を決定しました。焼却処理を継続することは、これらの目的を達成することができないため、資源化へのご理解をお願いいたします。</p>
2	分別収集	<p>案では、現在の不燃物の袋を使用するとしているが、リサイクルの意義を示すため新しい袋を作成すべきである。(料金も別料金にするため)中途半端に袋を兼用するとリサイクルの意義も伝わりづらく、何時までたっても分類が進まない。また、袋を販売する商店においても、3種類ぐらいは問題ないし、ロール状にすればより販売しやすいと考える。</p>	<p>日野市では、プラスチックを分別した後に不燃ごみとして残るガラス・陶磁器類について資源化の検討を進めていくことで、不燃ごみゼロを目指し、将来不燃ごみの袋を廃止していきたいと考えています。 不燃ごみとプラスチック類ごみの袋を兼用でスタートをすれば、プラスチック専用で切り替えができますが、別々に製造した場合には、将来の不燃ごみ廃止に伴い、不燃ごみ袋の交換や返金が必要となってきます。 また、新たにプラスチック類ごみ用の指定収集袋を製造するとすれば、①家庭用(大・中・小・ミニ)、事業用(特大・小)の6種類の袋を新たに製造しなければならない②販売店は6種類の袋を新たに陳列・ストックしなければならない③プラスチック類ごみ収集開始後に残った不燃ごみの袋の大きさが排出量に合わなくなり、交換や返金を求める声が多くなる可能性が高い、などの課題が多く、兼用することで課題が解決できると考えています。 なお、ロール状への切り替えについては、兼用の袋導入時に向けて実施できるように検討してまいります。</p>
3	分別収集	<p>プラスチックを分別収集し、資源化を行うということは、先進市の事例もあり、一つのやり方であるが、その実現の仕方については、意見があります。その実現の前提は、市民協働で、いかにごみ処理のための費用を効率化して、コストを削減するための方法をまず前提にして考えることが重要である。以上の観点で市の案に対する意見を述べます。●分別収集方法：容器包装プラスチックという区分にする。なお、製品プラは、現状の不燃ごみ区分汚れたプラは、現状の可燃ごみ区分市民が出すときは、現在の発砲スチロール、トレー類の資源物と同様に透明・半透明の袋(レジ袋可)で収集する。廃棄物処理手数料は、現状の資源ごみ無料そのまま。●ポイント:リサイクルされるプラスチックの品質が向上することになり、容リ協会からの歳入に繋がる。・中間処理施設の手選別作業の効率化に繋がる。(運営費)・市民のコスト負担の軽減・他市で既に行なっており、分別への負担を理由にした根拠や「容器包装お返し大作戦」の逆流、施設運営費等の費用がかかるから等の根拠は、説得力に欠ける。質問しても、根拠データが出てこない。</p>	<p>日野市では、新たに可燃ごみ処理施設を建設するために更なるごみ減量を図る必要があると考えており、それを実現していくためにもすべてのプラスチックの資源化に取り組んでいくことを決定しました。また、プラスチック製容器包装の資源化では、売却は難しく、費用をかけて資源化を行っていることから、売却益が市に還元されることはありません。 これまで4週に1回の収集を行っていた発泡トレー類を毎週1回収集することになるため、収集の利便性が向上します。一方、これによりトレーなどの排出はお返し大作戦から行政回収に戻ることを懸念しています。拡大生産者責任を求めていくためにも、容器包装お返し大作戦が更に推進できるようにご理解をお願いしてまいります。</p>
4	分別収集	<p>収集サイクル:汚れたプラを分別して可燃ごみで出すので、容器包装プラスチックの収集回数は、週1回でなくても、2週1回でスタート・不燃ごみの収集回数は、2週1回でスタート &lt;目標は、収集運搬経費の効率化を模索し、少しでもコスト削減へつなげる。&gt;現状の可燃ごみ以外のすべての回収サイクルの総点検が必要</p>	<p>焼却ごみ量の削減のため、汚れたプラスチック類ごみは可燃ごみではなく、汚れを落としてプラスチック類ごみで排出し、適正な資源化にご理解・ご協力いただきたいと考えております。 分別の疑問点などを含む実施方法については、丁寧にわかりやすく説明を行ってまいります。</p>

	項目	意見全文	市の考え方
5	分別収集	<p>発泡スチロール・トレイ類の収集をプラスチック類ごみとして収集することに反対です。今回のプラスチック類の分別回収で、トレイ・発泡スチロール類を不燃物の中に入れるのは、優れた方法とは思えません。お返し作戦の逆流を市自ら進めていくことになります。長年市民が努力して進めてきたお返し大作戦は少しずつ市民の間に浸透してきています。トレイは従来のまま、お返し大作戦を続け、市民レベルの拡大生産者責任制度に繋がる取り組みを継続すべきではないでしょうか。お返し大作戦も、丘陵地居住の方々、仕事に出るの方々、高齢者の方々には困難なことです。市と業者と市民とで検討し、市民の協力で続いているトレイ・発泡スチロールの処理は、現状の無料回収とお返し大作戦の併用で継続していくべきです。お返し大作戦は拡大生産者責任制度に結びついていく点で無くさないでもらいたいものです。ペットボトル、トレイ、牛乳パックのお返し作戦は、ごみを元から減らしていく最も基本的な部分に市民がかかわることができる方法だからです。</p>	<p>日野市では、ごみの減量を第一に考え、①リフューズ(発生回避)②リデュース(発生抑制)③リユース(再使用)の3Rにお返し大作戦の④リターンを加えた取り組みを優先しています。これらを実践し、それでも残るごみについては、できる限り⑤リサイクルできるように取り組んでいます。</p> <p>①～④は、費用をかけずに取り組むことができますが、⑤のリサイクルは、分別収集や資源化に費用がかかることから、市民の皆様にも排出量に応じた一定のご負担をお願いするものです。</p> <p>特に④リターンは、容器包装を使用する事業者には拡大生産者責任を求める取り組みから、容器包装お返し大作戦を更に推進する必要があると考えておりますので、これまで4週に1回の回収から毎週排出できるようになることで、お返し大作戦が衰退しないようにしなければなりません。無料等で収集した場合には、行政回収に逆戻りすることが懸念されることから、指定収集袋で収集することをご理解をお願いします。また、お返し困難者(高齢者やお仕事をされている方など)への対応を事業者(スーパー等)と協議を進めてまいります。</p>
6	分別収集	<p>「紙面(広報)に限界もあり、すべての情報を掲載できない」との回答を頂きましたが、私が知りたいのは「プラごみ収集」を始める目的と理由、「どういう製品がプラごみと分類されるのか」、「プラスチック容器の残り滓を完全に除去できるだろうか」、「危険物の袋に入れていたプラごみ以外のごみ収集はどうなるのか」ということです。収集実施時、当然上記について市民に説明が必要ですね。すべて決まってからでは遅すぎます。</p>	<p>焼却ごみ量の削減、環境への配慮等からプラスチック類ごみの分別収集に取り組んでまいります。</p> <p>また、実施に伴う疑問点などについては、分別ガイドブックの作成・全戸配布、中学校区ごとの全市説明会の開催などを計画しており、今後も丁寧でわかりやすい説明に努めてまいります。</p>
7	分別収集	<p>全面的賛意を表明します。プラスチック類をごみとして廃棄物にはいけなないと思ひ、回収・再生することに賛成します。</p>	<p>プラスチック類ごみの分別収集を行うことにより、プラスチックの資源化を進めていきます。今後ともご協力をお願いします。</p>
8	分別収集	<p>プラスチック類の分別について。分別収集に限定していますが…分類をキチンと市民に啓発すべき！特に汚れたプラスチックは不燃か、可燃か、曖昧です。</p>	<p>実施に伴う疑問点などについては、分別ガイドブックの作成・全戸配布、中学校区ごとの全市説明会の開催などを計画しており、今後も丁寧でわかりやすい説明に努めてまいります。</p>
9	ごみ処理手数料	<p>プラスチックのリサイクルを歓迎します。これまで燃えないゴミの大部分がプラスチックでした。それがリサイクルし、資源化できることを待っていました。これまで、プラスチックの中でリサイクル回収されていたものはバリバリと割れるトレイ類や発泡スチロールだけでした。プラと表記されている全てのものが回収されるなら燃えないゴミは本当に少なくなりますね。気になるのはそれを有料袋に入れて出すというような話がきこえてきたことです。パリバルトレイ類や発泡スチロールの回収は無料でした。その延長で全てのプラを無料で回収すべきです。有料にすれば、よごれたトレイやマヨネーズ、歯ミガキのチューブなどはこれまでと同じように燃えないゴミに入れてしまうと思います。広報でもそれらを一手間かけてきれいにするし方を書いていたではありませんか。無料回収でこそリサイクルを徹底できると思います。それからプラスチックの資源化で、それが何に再生できるのか、私たちの生活に役にたっているのかを示すのも動機付けになると思います。</p>	<p>「無料でなければ分別・リサイクルが徹底できない」とならないように、プラスチック類ごみを分別収集する目的や効果、必要性などを市民の皆様にご丁寧にわかりやすく説明を行い、ご理解とご協力をお願いしてまいります。</p> <p>汚れたプラスチックの取扱いなど、実施に伴う疑問点などについては、分別ガイドブックの作成・全戸配布、中学校区ごとの全市説明会の開催などを計画しており、今後も丁寧でわかりやすい説明に努めてまいります。</p>
10	ごみ処理手数料	<p>不燃ごみに該当する物を明記してほしいです。プラスチック類ごみ分別は資源とされていて無料と書いていたのですが、有料となるのですね。先日、マイクロプラスチックの海洋汚染の講演を受講し、大きな世界的な問題ですので有料は賛成です。できたら今までと同額が良いです。</p>	<p>不燃ごみとなるものは何か？など、実施に伴う疑問点などについては、分別ガイドブックの作成・全戸配布、中学校区ごとの全市説明会の開催などを計画しており、今後も丁寧でわかりやすい説明に努めてまいります。</p>
11	ごみ処理手数料	<p>本来ごみの収集・処理費用は市町村の税金で行う事になっている。したがって東京都は無料で行っているが、三多摩の各市は有料であり、市民にとってはこれが三多摩格差につながっている。プラスチック類については、市町村によってリサイクルの観点から多くの市が実施しているが、26市中19市が有料、無料が2市、未実施が5市となっている。ごみの減量については、プラスチック類のリサイクル化が必要で、CO2削減(地球温暖化対策)にも貢献ができる。しかし、収集費用・分別費用も掛かることから、ごみ袋の有料化は一定割合必要と考える。これを無料にした場合は、一般ごみの混入が多くなり、リサイクルに一層の手間と費用が必要となってくる。また、ごみ袋の販売にも有料の方が商店の取り扱いも容易と考える。したがって、ごみ袋の一定の有料化については理解できる</p>	<p>プラスチック類ごみを無料または低額で分別収集すると、他のごみの混入や、容器包装お返し大作戦への悪影響があると考えており、不燃ごみと同額での分別収集を予定しています。</p>

	項目	意見全文	市の考え方
12	ごみ処理手数料	<p>プラスチックごみ袋の料金(三多摩各市)</p> <p>可燃と同額 4市  // 3分の1 2市  // の63% 1市  // 無料 8市  // 2分の1 4市  未実施 5市  // 5分の2 1市</p> <p>関連ある市の状況(南多摩地区)</p> <p>八王子市 無料  稲城市 プラ未実施  多摩市 3分の1  町田市 2分の1</p> <p>関連ある市の状況(新可燃構成市)</p> <p>小金井市 可燃と同額  国分寺市 無料</p> <p>以上の状況から、日野市が可燃と同料金で袋を売るには、各市の状況から、市民に納得のいく説明が出来ないのではないか。日野市廃棄物減量等推進審議会での慎重な審議を望みます。料金設定は、可燃物料金から売払うプラスチックの金額を差し引いたものを参考に、可燃料金の63%~80%程度が、リサイクルの意欲が湧く料金設定と考える。</p>	<p>これまで可燃ごみと不燃ごみで排出していただいていたごみを、可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック類ごみに分別をしていただくこととなりますが、排出する量が変わらなければ、皆様の費用面の負担はほぼ変わらないと考えています。</p> <p>分別を行う手間(負担)をおかけすることになりますが、焼却ごみ量の削減、二酸化炭素排出量の削減など、環境への影響などを含めプラスチック類ごみの分別収集を行う目的や効果、必要性などを丁寧にわかりやすく説明し、ご理解いただけるように努めてまいります。</p>
13	ごみ処理手数料	<p>諮問内容についても基本的なことをわかりやすく知ることができるよう。プラスチックごみ資源化、なくしていく方向について書かれている市長コラム賛成です。それには市民の多くが協力しやすい方向で納得し、協力していくことが欠かせません。その一歩としての分別収集は、実施についての市民の声を市があまねく聞き、費用支出増大などにならないように。</p>	<p>プラスチック類ごみの分別収集を行うにあたり、効率的な方法等を引き続き検討していきます。また、市民の皆様のご意見を聞き、疑問点などに対して丁寧にわかりやすい説明ができるように取り組んでまいります。皆様の疑問点を確認するためにも、中学校区ごとに全市説明会の開催を計画しており、一つ一つの課題解決に取り組んでまいります。</p>
14	ごみ処理手数料	<p>手数料について。プラスチックの資源化に向けて無料といわれた自治体立川市・国分寺市・武蔵野市・福生市・八王子市に問い合わせをしてみました。市民のごみ収集への理解・協力の為に誠心誠意取り組まれていることは、どちらの自治体も同じかと思えます。日野市がプラスチックごみ処理無料自治体とは違う点は、可燃ごみは単独ごみ処理ではなくなります。むしろ、無料化した方が良くと思います。市民の協力を得る為に、ごみ袋を無料としているところ、無料では無いのは、汚れがあるもの、自治体によっては文具、おもちゃなどプラスチックでも可燃に入れているケースが有ったりし、本当に分類への協力とは大変であることが判りました。プラスチックごみ回収の協力への啓発の為に説明会では、一部有料を提示されました。市民の分別収集への協力に「トレーを有料」などと云う市民の負担が小さく見えるやり方は、姑息・欺瞞的です！有料とハッキリしたらいい〜その上で、意見求めるべきです。</p>	<p>これまで可燃ごみと不燃ごみで排出していただいていたごみを、可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック類ごみに分別をしていただくこととなりますが、排出する量が変わらなければ、皆様の費用面の負担はほぼ変わらないと考えています。</p> <p>分別を行う手間(負担)をおかけすることになりますが、焼却ごみ量の削減、二酸化炭素排出量の削減など、環境への影響などを含めプラスチック類ごみの分別収集を行う目的や効果、必要性などを丁寧にわかりやすく説明し、ご理解いただけるように努めてまいります。</p>
15	ごみ処理手数料	<p>今回の「有料化」は、行政内部で充分検討されたとは思えません。例えば、「有料化」させないための検討は、されたのですか？…答えてください。何故、「有料化」しなければならないのか？…説明してください。⑥、安易な「有料化」には、反対です。…安易過ぎます。</p>	<p>これまで可燃ごみと不燃ごみで排出していただいていたごみを、可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック類ごみに分別をしていただくこととなりますが、排出する量が変わらなければ、皆様の費用面の負担はほぼ変わらないと考えています。</p> <p>分別を行う手間(負担)をおかけすることになりますが、焼却ごみ量の削減、二酸化炭素排出量の削減など、環境への影響などを含めプラスチック類ごみの分別収集を行う目的や効果、必要性などを丁寧にわかりやすく説明し、ご理解いただけるように努めてまいります。</p> <p>これまで4週に1回の収集を行っていた発泡トレー類を毎週1回収集することになるため、収集の利便性が向上します。一方、これによりトレーなどの排出はお返し大作戦から行政回収に戻ることを懸念しています。拡大生産者責任を求めていくためにも、容器包装お返し大作戦が更に推進できるようにご理解をお願いします</p>

	項目	意見全文	市の考え方
16	ごみ処理手数料	<p>有料化によりプラスチック類排出量が減るといふ考え方は、短絡的ではないか。日野市がごみ袋の有料化を進めたことによって、可燃物が半分近く減量したのは事実です。日野市と市民の努力があればこそです。ダストボックス撤収当時、回収時不備な点があると問題点を書き込んでごみ袋に貼りながら回収し続けた職員のみなさんの努力には頭が下がりました。しかし、それだけでは半減しません。可燃物は多くの場合、生ごみと紙類が大部分を占めていたため、市民は紙ごみを無料の資源化回収に分別したことが大きいのではないのでしょうか。雑木林や公園の隅に放置されているものを見かけましたが、紙ごみを積極的に分別したこと生ごみのたい肥化の努力をする市民が増えたことが大きな要因ではないのでしょうか。有料化と無料資源化分別がかみ合って可燃物の半減化が進んだと思います。プラスチック類の分別も有料化のみでは、下手をすれば不法投棄がおきてくる。今地球規模でプラスチック類の海洋汚染がひろがり、不法投棄など様々なプラスチック汚染を防ぐために、①プラスチックが引き起こす環境問題に市民が気づくような取り組み②拡大生産者責任制度が進むように市内の業者、東京都、政府に働きかけていく方を組み合わせる工夫も欠かすことはできない</p>	<p>プラスチックによる地球環境への影響については、現在小学校で行っている環境学習などで啓発しています。今後も市民の皆様に対する啓発方法等を検討し実施してまいります。拡大生産者責任の推進を図るため、「容器包装お返し大作戦」を進めいくとともに、更に制度が進むように国への働きかけを引き続き実施してまいります。日野市としても、脱プラスチックの生活推進に向けた取り組みの検討や発生抑制につながる施策の検討を進め、市民の皆様にご理解・ご協力いただけるように取り組んでまいります。</p>
17	ごみ処理手数料	<p>手数料の根拠の説明が不十分である。「資源化にも、施設建設・運営費・資源化事業など経費がかかる。利益が発生する事業ではない」と記されているが、資源化は本当に利益が出ないのか。他市はなぜ無料や安い料金でプラスチックを回収できるのか。日野市は何も市民に説明をしていない。廃棄物処理手数料という意味のゴミ袋代であれば、その中に施設建設費や運営費などの費用を加えるのは拡大解釈しすぎではないか。ゴミ袋そのものは、10円にも満たない費用である。A市はゴミ袋代はゴミ袋そのものの代金に充て、資源化によって得た利益をごみ処理料や減量対策の啓発活動に活用している。利益は出ているのである。日野市が資源化しても利益が出ないのは、ゴミ袋代としての廃棄物処理手数料の中に必要経費を入れ過ぎているのではないのか。施設建設費や運営費までくわえるから、利益が出ないのではないのか。年間ゴミ袋代で4億6千万円(可燃物+不燃物)の収入があるというが、いったい何に使用しているのか。...なぜ、こんなにゴミ袋代が高いのか。日野市は、資源化を進めるプラスチックの分別回収を始める前に、ゴミ袋代として市民に払わせる可燃物・不燃物の廃棄物処理手数料について、明確に丁寧に説明すべきである。パブリックコメント説明資料をもとにプラスチック類のゴミ袋代を以下に図示する。可燃ごみと同額のプラスチックのゴミ袋代の自治体は、22自治体のうち4自治体(18%のみ)</p> 	<p>これまで可燃ごみと不燃ごみで排出していただいていたごみを、可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック類ごみに分別をしていただくこととなりますが、排出する量が変わらなければ、皆様の費用面の負担はほぼ変わらないと考えています。分別を行う手間(負担)をおかけすることになりますが、焼却ごみ量の削減、二酸化炭素排出量の削減など、環境への影響などを含めプラスチック類ごみの分別収集を行う目的や効果、必要性などを丁寧にわかりやすく説明し、ご理解いただけるように努めてまいります。</p>
18	その他	<p>今回のパブリックコメントのやり方について。日野市 廃棄物減量等推進 審議会というのは、何ですか？ 審議会の資料にコメントするというやり方は、よくわかりません。また、全市の市民に係る案について、事前の説明会を地区ごとせず単にHPに掲載して意見を求めるというやり方は、最初から市民協働を掲げる市の姿勢として是非改善を。さらに、諮問参考資料の中に8月4日開催のごみ減量説明会(市民対象)において出された主な意見が「市民の意見」としてひとり歩きするようなやり方になっていませんか？</p>	<p>日野市廃棄物減量等推進審議会とは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の7の規定に基づき、一般廃棄物の減量及び再利用の促進等に関する事項について、市長の諮問に応じ審議し、答申する市長の附属機関です。また、今回のパブリックコメント実施に向けては、ごみ情報誌エコー、広報ひの、8月に実施したごみ減量説明会などを通じてプラスチック類の分別に関する情報をお知らせしてまいりました。実施に伴う疑問点などについては、分別ガイドブックの作成・全戸配布、中学校区ごとの全市説明会の開催などを計画しており、今後も丁寧にわかりやすい説明に努めてまいります。</p>
19	その他	<p>プラスチック性ごみの「有料化」に対する意見①、市議会で説明していた職員の日野市の「有料化」に関する説明は、市民を冒涇している説明です。...考えていない、思いつきの説明です。前向きで、丁寧な検討をしたとは、思えない説明です。大坪市長は、この程度の説明で納得するのですか？...教えてください。②、本来、オウラスチックごみは、生産者責任を果たさせるように「法律」、「罰則」、市行政レベルでは、「条例を創る。」こうした施策を立てながら市民と一緒に考えるべきです。...条例化できないのか？...説明してください。③、広く市民の声を聴こうとしないのですか？...教えてください。そのためには、中学校区毎に「有料化」の説明会を開催し市民から広く意見を聴く姿勢が大事です。こうしたパブリックコメントだけで意見を聴いたとする判断は、これまた、上記で指摘した「市長はじめ幹部職員の怠慢」と、指摘しなければなりません。・「何故」こうした機会をつくらうとしないのでしょうか？...教えてください。・住民参加行政を貫いてください。...市政に住民参加を求めていたではありませんか？...住民参加とは、何だったんですか？...教えてください。④、プラスチック性の容器が市場に出回るの、今後更に拡大すると思われます。これを制御するには、容器そのものを再生使用できるプラスチック容器の安全性、耐性を向上させ、強度など、を持たせることだと思います。行政として生産者責任を果たさせる為の、積極的提案を惜しまず挑戦することだと思います。</p>	<p>プラスチック類ごみを分別収集する目的や効果、必要性などを市民の皆様にご丁寧にわかりやすく説明を行い、ご理解とご協力をお願いしてまいります。今後は、実施に向けて分別ガイドブックの作成・全戸配布、中学校区ごとの全市説明会の開催などを計画しており、今後も丁寧にわかりやすい説明に努めてまいります。また、拡大生産者責任の推進を図るため、事業者との協議を進めていくとともに、国などの関係部署に対し、市長会などを通じて取り組みの強化などを求めてまいります。</p>

	項目	意見全文	市の考え方
20	その他	<p>プラスチックごみの分別状況の公開について。これまで不燃ごみとして市民に分別させてきたのに、焼却し続けてきた日野市の責任は大きい。多くの市民は分別=資源化と受け止め続けて、汚れたプラスチックも資源化を損なうと思って、きれいに洗浄し続けてきた。市は広報誌にも焼却していることが判らないように記していた。市民のページで初めてプラスチックを焼却していることを知った人も多い。ある意味市民をだましつづけていたことになる。今度のプラスチックの分別は大丈夫だろうか心配している市民は少なからずいる。日野市はこれまでのように市民にフェアでない姿勢を改め、まっとうな日野市であってほしい。プラスチックの分別はもちろんのこと、すべてのゴミ処理を市民に公開してほしい。市民にいつでも施設公開や様々な資料データの公開などができるようにすべきである。プラスチックの分別、焼却量、どの業者に引き渡しているのか、資源化の費用はどのようになっているのかなど、市民の要求に応える市政、市民に開かれた市政であってほしい。そうした状況の中に市民と市との相互の理解が生まれてくる。今の市の「やることに着いてこい方式」ではほんとうのごみの減量はすまないのではないか。小金井、国分寺市にも、可燃物の混入を厳しくチェックしてほしい。その、調べている様子も市民に公開すべきである。へらしたごみが今まで以上に多くのごみを焼却することになるのはとんでもないことである。焼却量、発生するガス類のデータ公開をしっかりとすべきである。</p>	<p>ごみ処理に関する情報等について、広報ひの、ごみ情報誌エコー、市HPや施設見学などを通じて市民の皆様にご覧いただける限り公開してまいります。 また、施設の運営に関する情報(排ガス等の数値など)についても、引き続き情報を公開するよう関係機関と協議してまいります。</p>
21	その他	<p>私のような高齢者や働く女性は関心があっても諮問を閲覧に行くのは困難です。諮問要旨を広報に掲載するよう再度要望します。</p>	<p>限られた紙面ではありますが、今後は広報に掲載できるように検討してまいります。</p>
22	その他	<p>私は市役所の行動に従っています。●●我が家の側にクリーンセンターがあり小さな焼却炉ができる筈でした。小金井、国分寺の話で●が終わりました。大きな建物と多大なゴミが作られました。500M以内の敷地は埋没してしまいます。安倍政権と一緒に街の話を聞かない。苦情と不安だらけです。</p>	<p>可燃ごみ処理の広域化については、今後も丁寧な説明に努めていきます。</p>
23	その他	<p>はじめに・・・「可燃ごみ広域化」問題がどれだけ、市政をゆがめてきたのか？日野市は、「ごみ問題」では重ね重ね近隣住民の意見も聞かず、遂に東京地裁へ日野市民が97名が住民訴訟を起こすまで深刻な状況に至っています。東京地裁では、都市公園内に「ごみ専用道路」を緊急に作り、公園整備中に発掘された『産業廃棄物様の庭石など』についても「いつ頃、誰が、何のために廃棄したのか？」更に、公園用地と認識しながら「公園用地の管理者責任」も曖昧にしたままの超スピードで公園造成に走りました。もともと、都市公園は、日野市民の共有財産です。ところが、日野市民が広域に使用することを承知で近隣自治会役員関係者」だけで創ることにしました。その結果、日野市幹部職員の中に蔓延する「法秩序無視」の行政執行が当然視され、職員モラルも低下している状況です。その原因は、大坪市長が率先して「住民との約束を簡単に無視」した、「都市公園法」違反を承知で進めることが常態化」してきた経緯でもあります。しかも、「公務員として、不偏、不当、不正を正すべき『幹部職員』が、市長を「容認」しました。また、一部の幹部職員は、率先して「違法を承知」で邁進してきたのです。その責任は、重いと言わなければなりません。違法行為に対しては、幹部職員ならばそれを諫めなければなりません。ところが、幹部職員同士で盛業、けん制する風土もこの間、風化させてきたのです。「マイナス風土の醸成」が進み、モラル低下をもたらしています。まさに、職員・公務員としての責任や誇りを失わせた「可燃ごみ広域化処理」問題だと指摘しなければなりません。これは、大坪市長の支持者、自民党・公明党支持の人たちでさえ、目を背けただけでなく、批判的に感じているはずで、大坪市長就任以来、現在に至る経緯の現時点は、日野市行政の恥です。大坪市長をはじめ、法秩序無視を諫めることもできなかった「幹部職員」辞職・辞任すべきです。</p>	<p>可燃ごみ処理の広域化については、今後も丁寧な説明に努めていきます。</p>